



情報処理技法(リテラシ)1

第12回

Microsoft PowerPoint

人間科学科コミュニケーション専攻

白銀 純子

第12回の内容



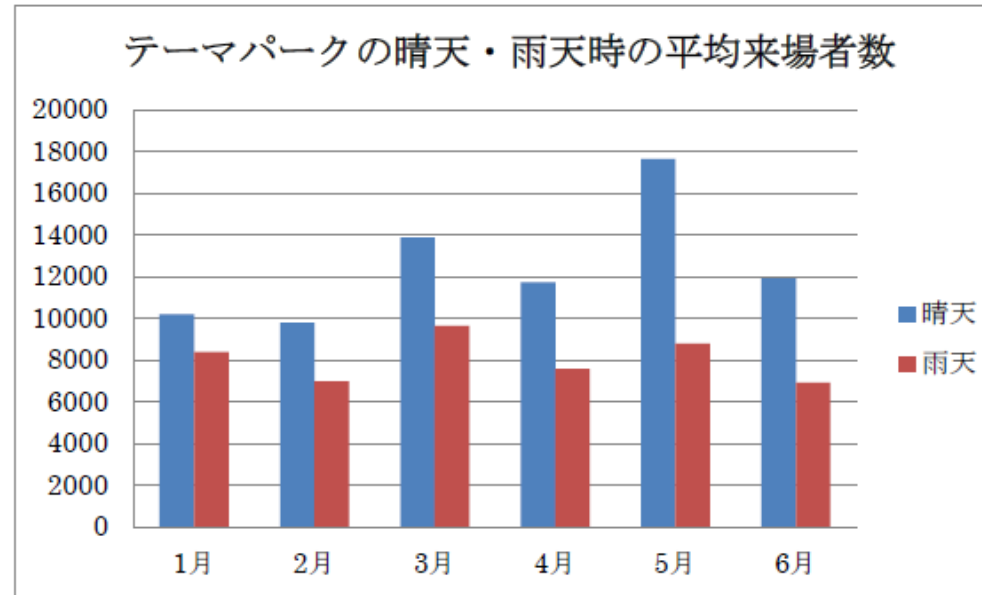
✳Microsoft PowerPoint

前回の復習問題の解答[1]



＊下記はレポートの一部です。図を入れたレポートとしては、どのようになれば望ましいか、修正すべき点をすべて答えなさい。

あるテーマパークの入場者数について、晴天日と雨天日の違いについて比較を行う。このために、上半期の各月の1日あたりの入場者数の平均を、晴天日と雨天日それぞれについて調べた。



この結果により、このテーマパークでは、雨天日の方が晴天日より明らかに入場者数が少ないことがわかる。

前回の復習問題の解答[2]



- ✳ グラフに「図1: テーマパークの晴天・雨天時の平均来場者数」などのように、図番号とキャプションをつける
- ✳ 本文で、「晴天日と雨天日それぞれについて調べた。その結果を図1に示す」などのように図を参照する

Microsoft Excel(続き)



表をWordで利用(p. 144)



1. Microsoft Excelの表をファイルに保存しておく
2. Microsoft Wordを起動する
3. Wordのメニューバーの「挿入」→「ファイル」をクリックする
4. 挿入したいファイルを選択し、「挿入」ボタンを押す
5. 警告のウィンドウで「OK」ボタンを押す
6. 挿入したい表が書かれてあるシートを選択する

やってみよう! [7]



✳️ 演習 8.2.12 (p. 144)

✳️ 現在練習中のExcelの表をWordの中に挿入

グラフをWordで利用(p. 144)



1. Excel上で、利用したいグラフを選択
2. Excelでメニューバーの「編集」→「コピー」をクリック
3. Wordを起動
4. Word上で、メニューバーの「編集」→「ペースト」をクリック

やってみよう! [8]



✳️ 演習 8.2.13 (p. 144)

セルのコピー&ペースト(p. 164)



- ✳ Excelのメニューバーで「編集」→「ペースト」で、コピーしたセルの内容を別のセルに貼り付け
 - ✳ 計算式そのものや罫線などの情報も一緒に貼り付け
- ✳ 貼り付けかたを選択したいとき: 「編集」→「形式を選択してペースト」
 - ✳ 「すべて」を選択: 計算式や罫線などの情報を一緒に貼り付け
 - ✳ 「数式」を選択: 計算式だけを貼り付け
 - ✳ 罫線などのほかの情報は除いて貼り付け
 - ✳ 「値」: 計算結果を貼り付け

Microsoft Excelの終了 (p. 167)



＊メニューバーの「Excel」→「Excelの終了」をクリック

Microsoft PowerPoint



Microsoft PowerPoint(p. 147)



- ✳ Microsoft社が開発・販売しているプレゼンテーションのためのソフトウェア
 - ✳ プレゼンテーションのための資料を作成する
 - ✳ プレゼンテーションをする

基本概念(p. 147)



✳ PowerPointでは、発表する内容を、いくつかのトピックに分割する

✳ 文章を書くときに、段落を区切るようなもの

✳ 分割したトピックを、1トピックにつき1枚の紙にまとめる

✳ 1枚に収まらなければ、さらにトピックを分割する
(1枚に、あまりたくさん詰め込みすぎないこと)

「スライド」と呼ぶ

PowerPointでの発表 (p. 147)

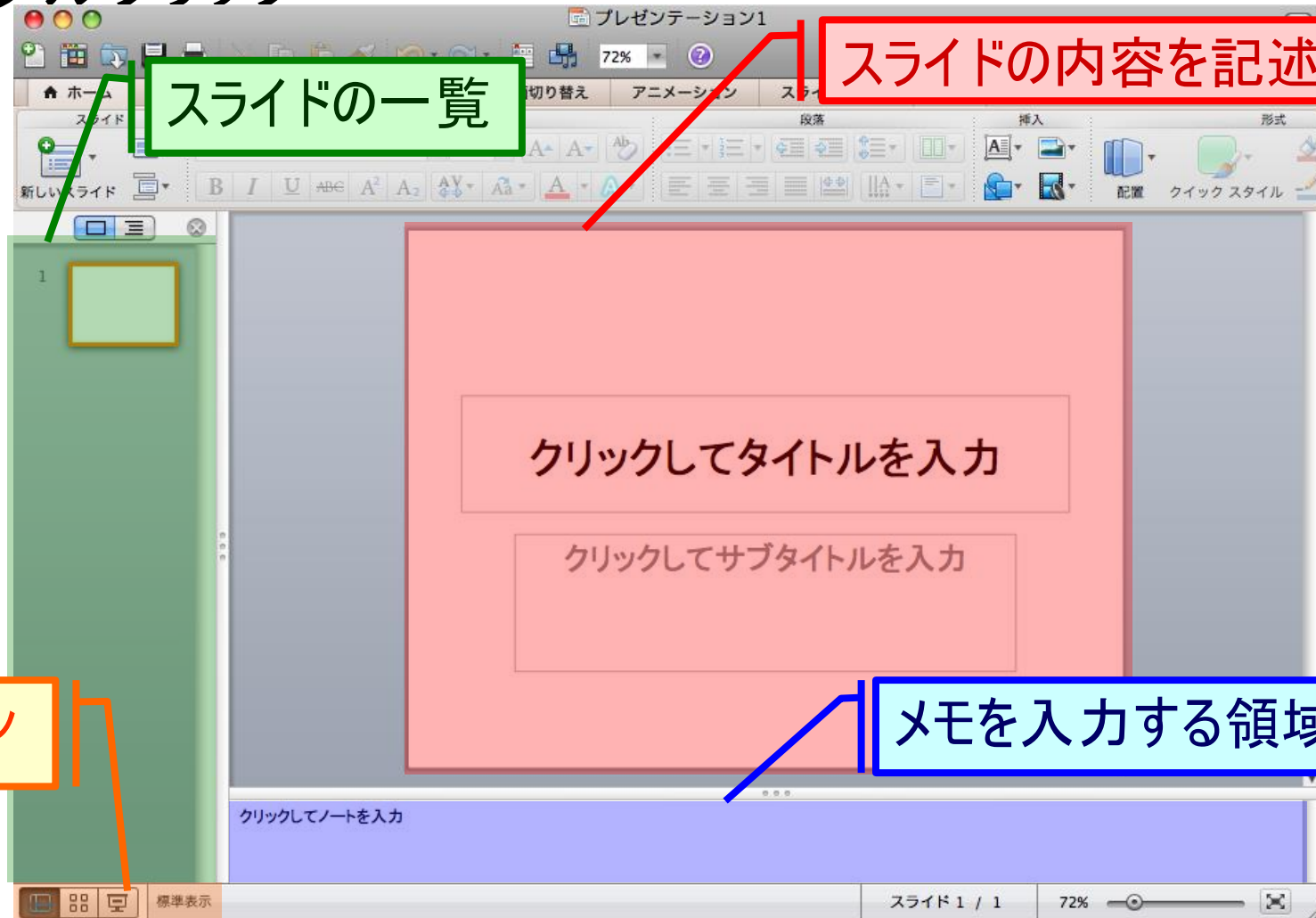


- ✳️ 作成したスライドを、1枚1枚見せながら話をしていく
 - ✳️ スライドとスライドのつながり(ストーリー)に注意

起動(p. 147)



✳ Finder → 「アプリケーション」 → 「Microsoft Office 2011」 → 「Microsoft PowerPoint」をダブルクリック



スライドの一覧を見る(p. 149)



✳ 表示切替のボタンの真ん中のボタンをクリック

✳ スライドを1つだけ選択する: 選択したいスライドをマウスでクリック

✳ 連続する複数のスライドを選択する: 選択したいスライドをマウスでドラッグ

✳ 連続しない複数のスライドを選択する:

「Shift」キーを押したままマウスで選択したいスライドを1つずつクリック

✳ 選択されているスライドをもう一度クリックすると、選択解除

新しいスライドの作成(p. 150)



＊「ホーム」タブ→「スライド」欄→「新しいスライド」をクリック

＊新しいスライドが作成される

＊スライドの形式を変更したい場合は、「ホーム」タブ→「スライド」欄→「レイアウト」ボタンの選択肢から選択

＊箇条書き用のスライド

＊図を入れるためのスライド

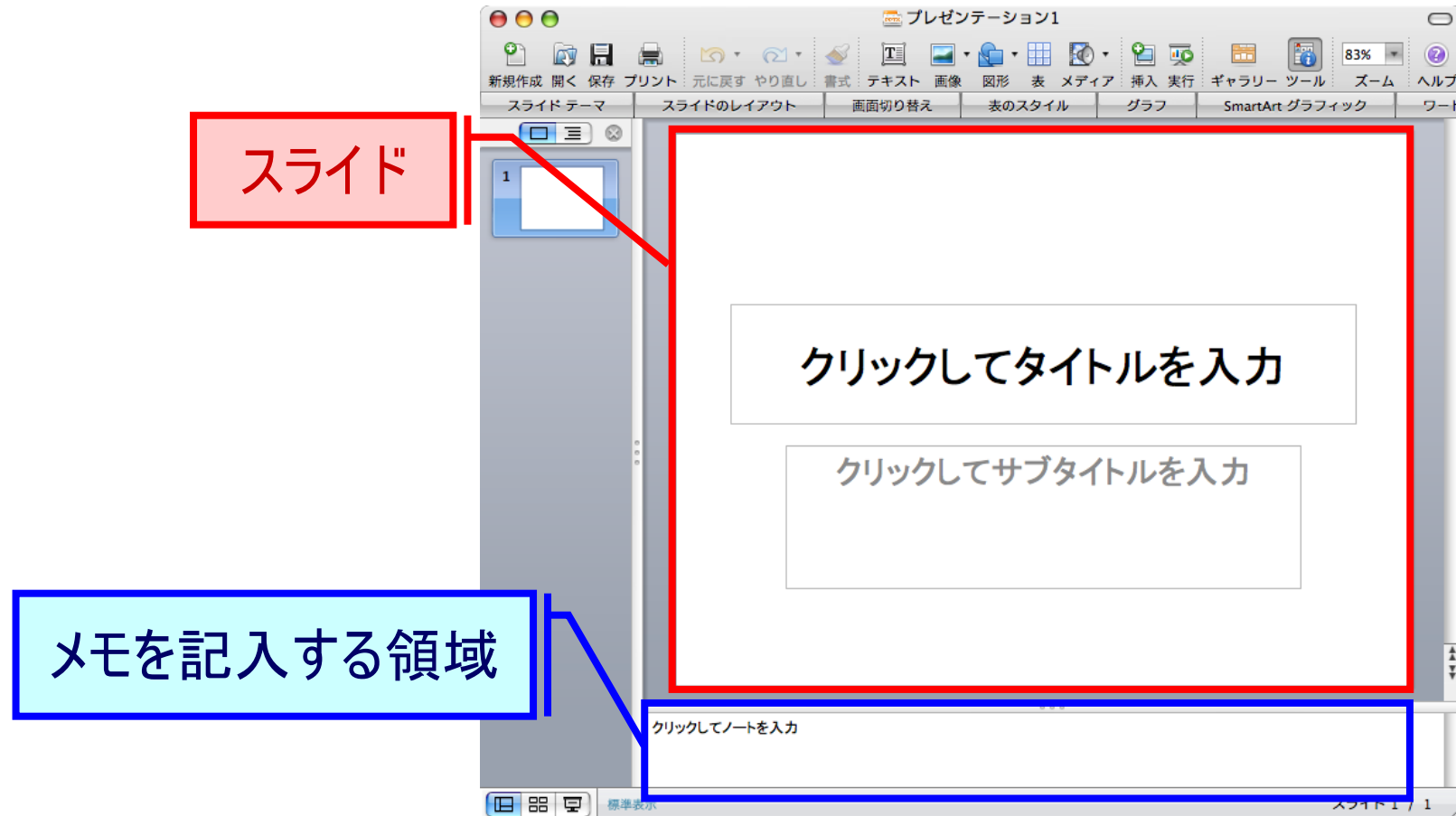
＊etc.

スライドにメモをつける(p. 150)



✳ それぞれのスライドには、メモをつけることができる

✳ メモは、プレゼンテーション時には表示されない



スライドの位置を変える(p. 150)



1. スライドの一覧を表示する
2. 位置を変えたいスライドをマウスでクリックして選択
3. メニューバーの「編集」→「カット」
4. スライドを置きたい場所でマウスをクリック
5. メニューバーの「編集」→「ペースト」

スライドをコピーする(p. 150)



1. スライドの一覧を表示する
2. コピーしたいスライドをマウスでクリックして選択
3. メニューバーの「編集」→「コピー」
4. スライドを置きたい場所でマウスをクリック
5. メニューバーの「編集」→「ペースト」

スライドを削除する(p. 151)



1. スライドの一覧を表示する
2. 削除したいスライドを選択する
3. メニューバーの「編集」→「スライドの削除」

装飾[デザインテンプレート](p. 151)

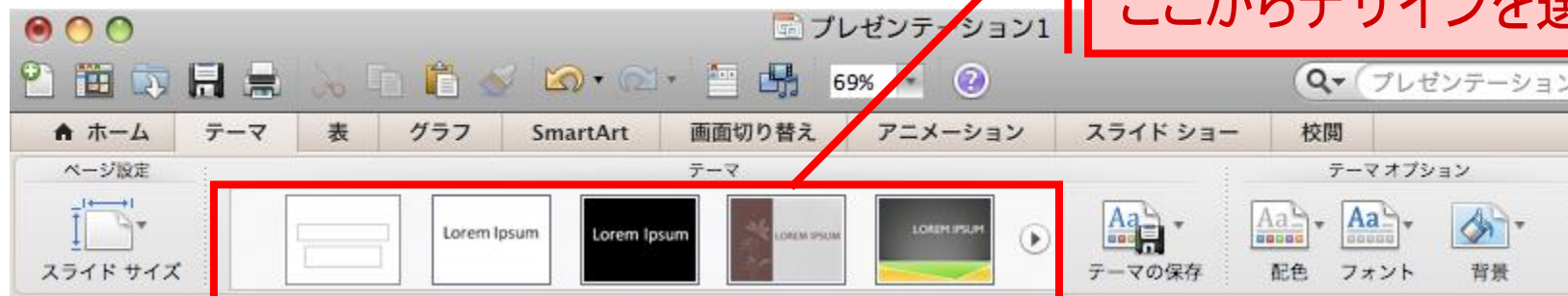


＊デザインテンプレート:

スライドの背景の絵や文字の色、箇条書きの項目の形などのスライドのデザインの雛型

PowerPointでは、様々なデザインが用意されていて、それらのデザインを利用してスライドを飾ることができる

＊「テーマ」タブ→「テーマ」欄のデザインの一覧から、デザインテンプレートを選択



デザインテンプレートの色 (p. 151)



- ✳️ デザインテンプレートの色を変えることも可能
 - ✳️ 文字の色、図形の色などがセットになって提供されている
- ✳️ 「テーマ」タブ→「テーマオプション」欄→「配色」ボタンをクリック
- ✳️ 表示される選択肢から、利用したい配色を選択

やってみよう!



✳️ 演習 8.3.2 (p. 152)

スライドマスター(p. 152)



- ✳️ **スライドマスター**: ファイル内のスライドの全体的な設定を行うことができる機能
- ✳️ 「**テーマ**」タブ→「**マスターの表示**」欄→「**マスターの編集**」ボタンをクリック
- ✳️ 表示される選択肢から、「**スライドマスター**」を選択
 - ✳️ タイトルや本文の文字の形や色の設定
 - ✳️ 箇条書きのマーカの形の設定
 - ✳️ 内容を記述する領域の大きさの設定
 - ✳️ ヘッダ・フッタの設定
 - ✳️ etc.
- ✳️ 「**スライドマスター**」タブ→「**マスター表示**」欄→「**閉じる**」ボタンで、もとの画面

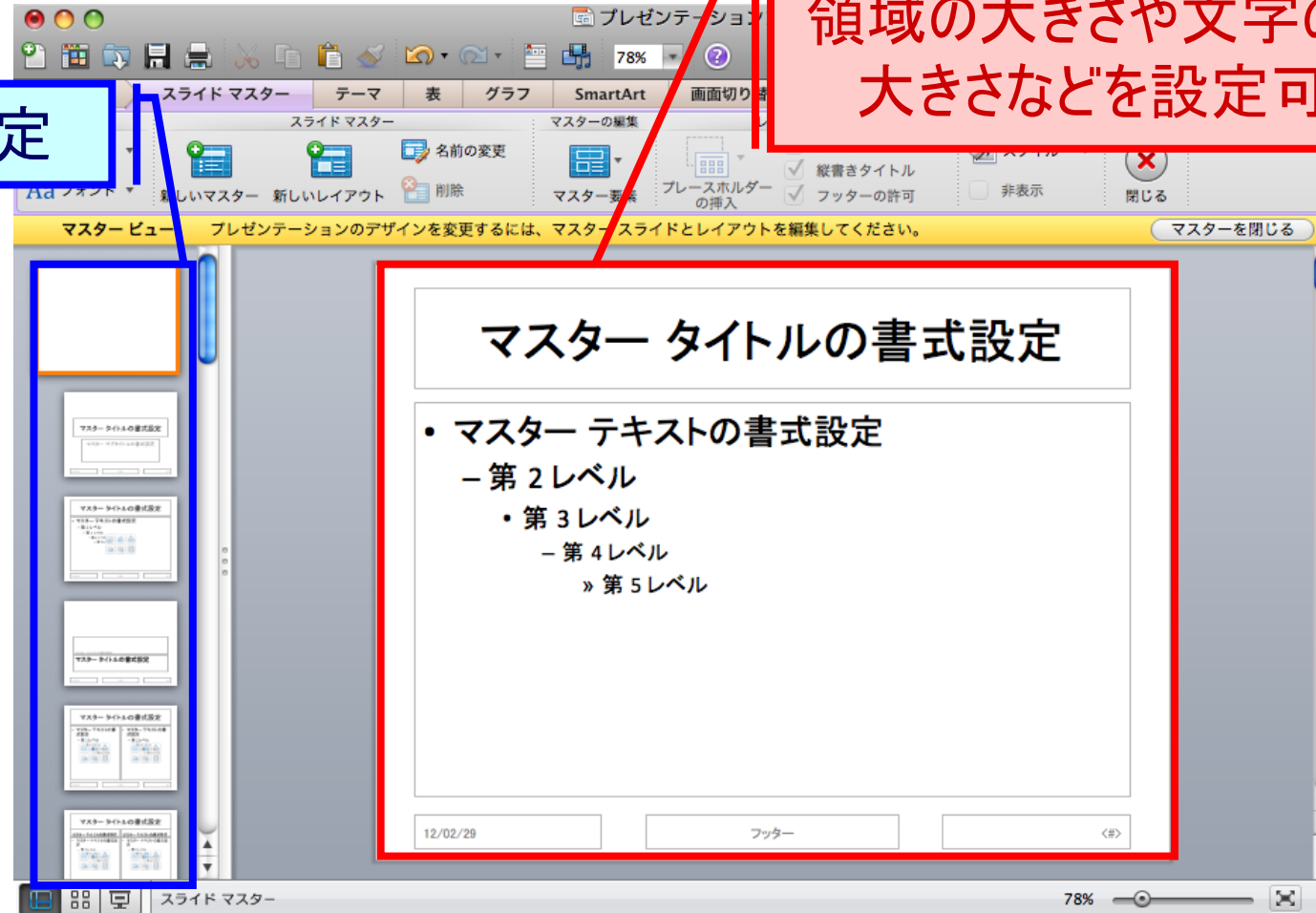
スライドマスタ[2](p. 152)



✳ 設定した内容が、ファイル内の全てのスライドに適用される

スライドの形式ごとに設定

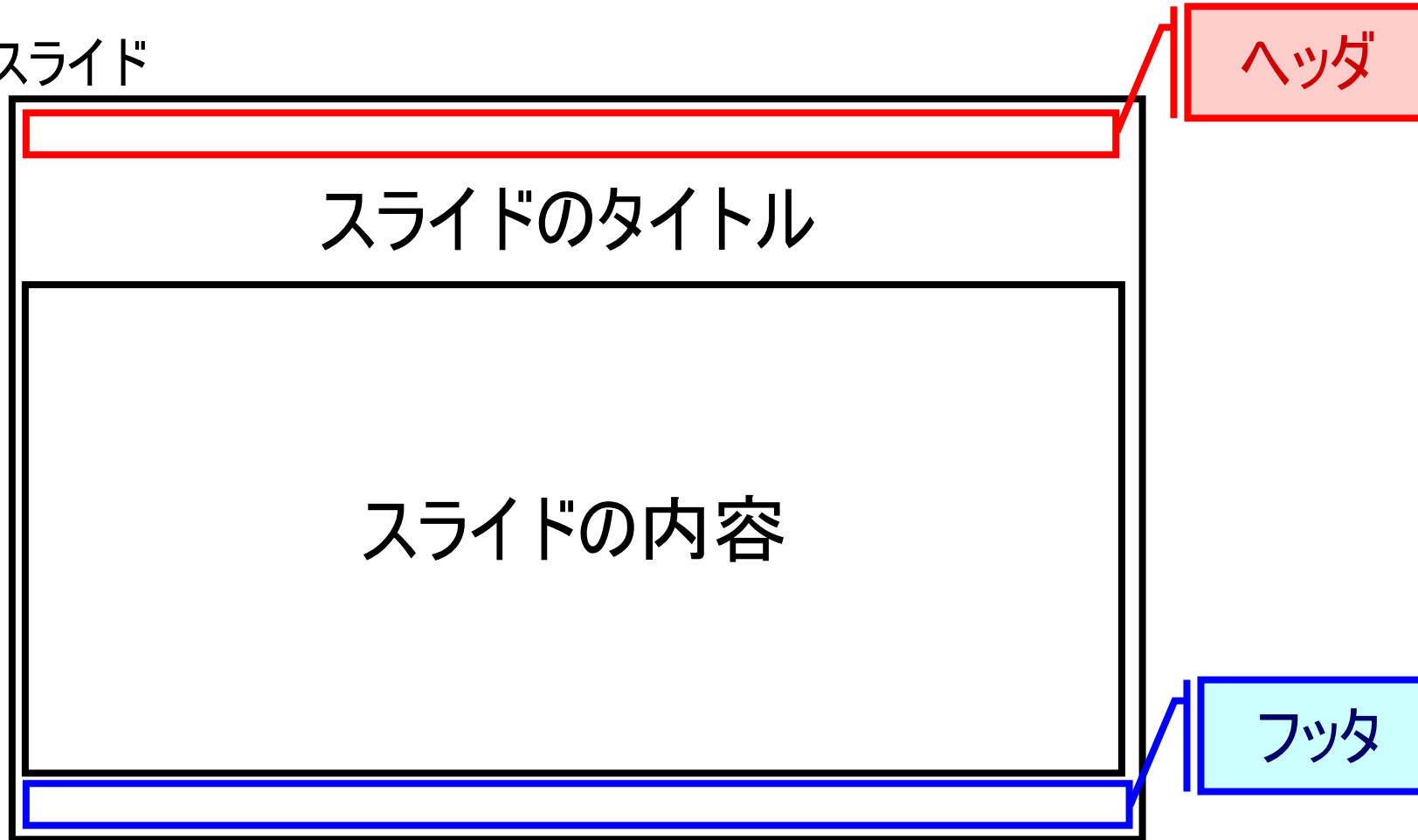
領域の大きさや文字の形・
大きさなどを設定可能



ヘッダとフッタ[1](p. 153)



スライド



ヘッダとフッタ[2](p. 153)



＊メニューバーの「表示」→「ヘッダーとフッター」

＊スライドの番号や著作権情報、日付などを全てのスライドに自動的に書くことが可能

＊「スライド番号」は必ずチェックすること



やってみよう!

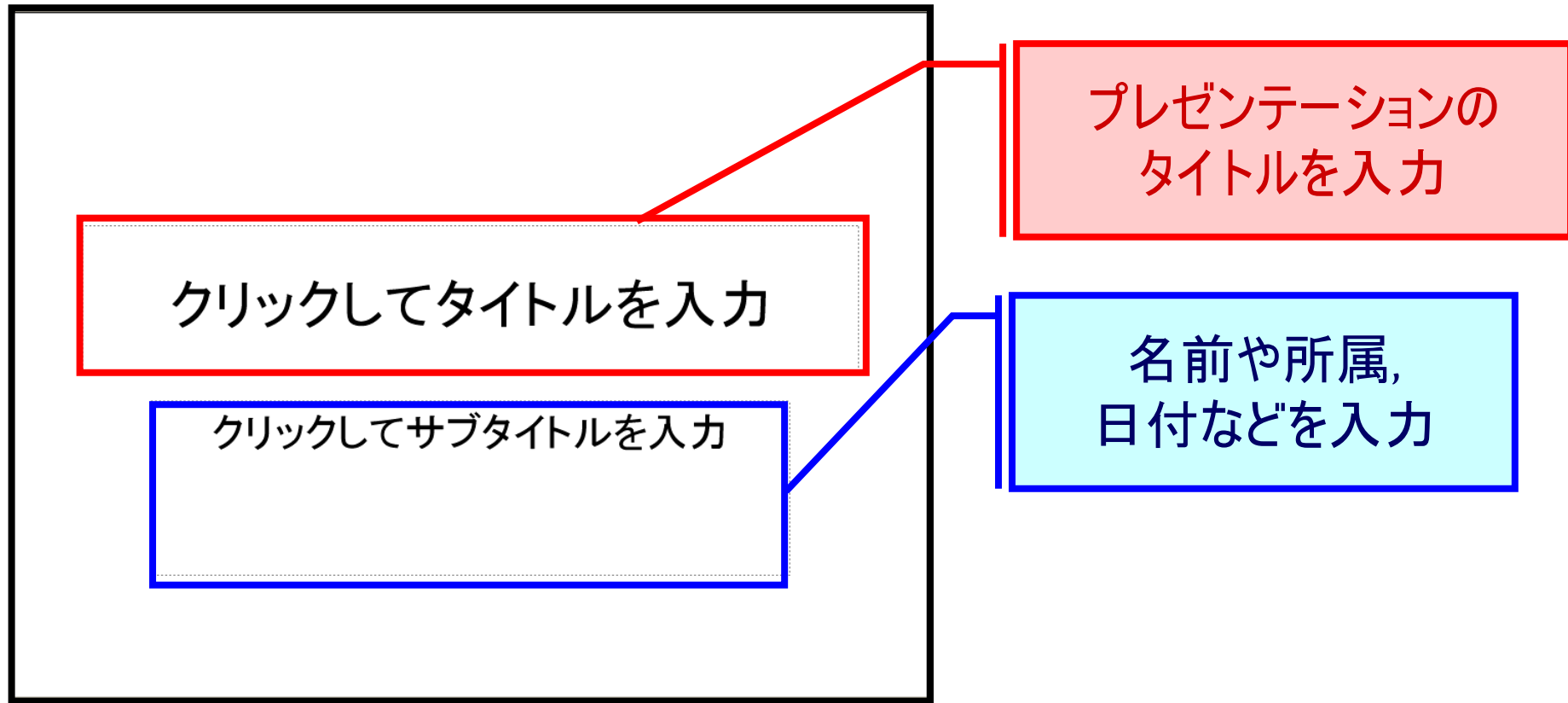


✳️ 演習 8.3.4 (p. 153)

タイトルスライド(p. 154)



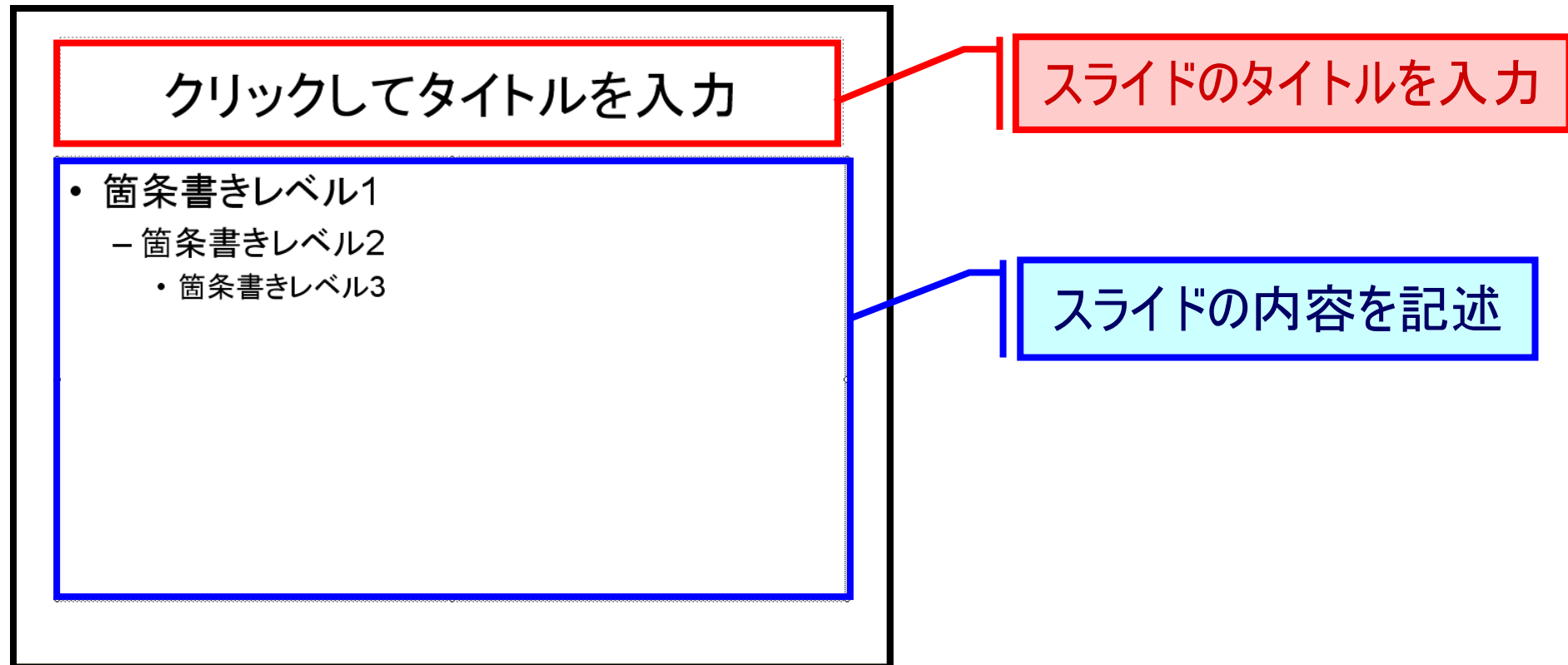
＊プレゼンテーション資料の表紙



内容記述用スライド(p. 154)



- ＊「クリックしてタイトルを入力」の部分をクリックし、スライドのタイトルを入力
- ＊スライドのタイトルの下に、スライドの内容を記述



箇条書き用スライド[1](p. 154)



✳ 改行すると、次の項目を記入できる

✳ 「Shift」キーを押しながら「Return」キーを押すと、項目を変えることなく改行ができる

改行すると、次の項目を入力できる

クリックしてタイトルを入力

- 箇条書きレベル1
 - 箇条書きレベル2
 - 箇条書きレベル3

「Shift」を押しながら「Return」を押すと
項目を変えずに改行できる

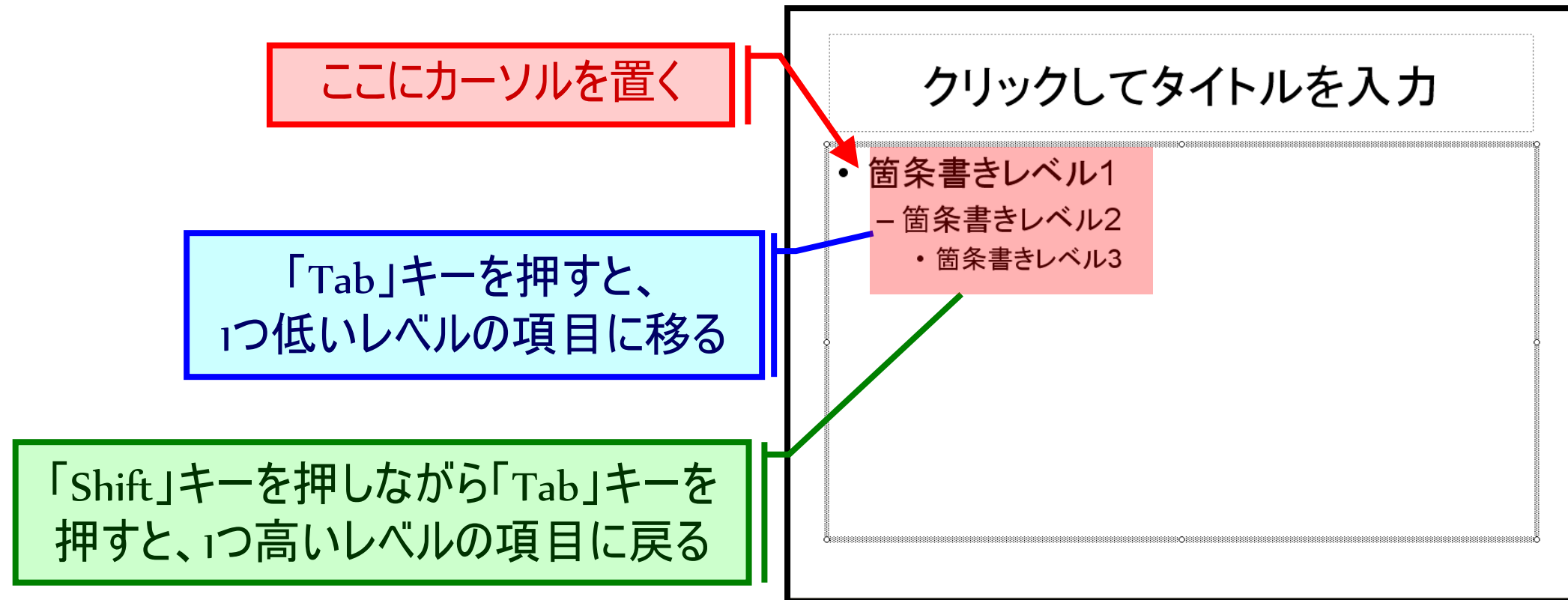
箇条書き用スライド[2](p. 154)



✳ 各項目のマーカのすぐ後にカーソルを置く

✳ 「Tab」キーを押すと1つ低いレベルの項目

✳ 「Shift」キーを押しながら「Tab」キーを押すと1つ高いレベルの項目



やってみよう!



✱ 演習 8.3.5 (p. 154)

図を描く[1](p. 155)

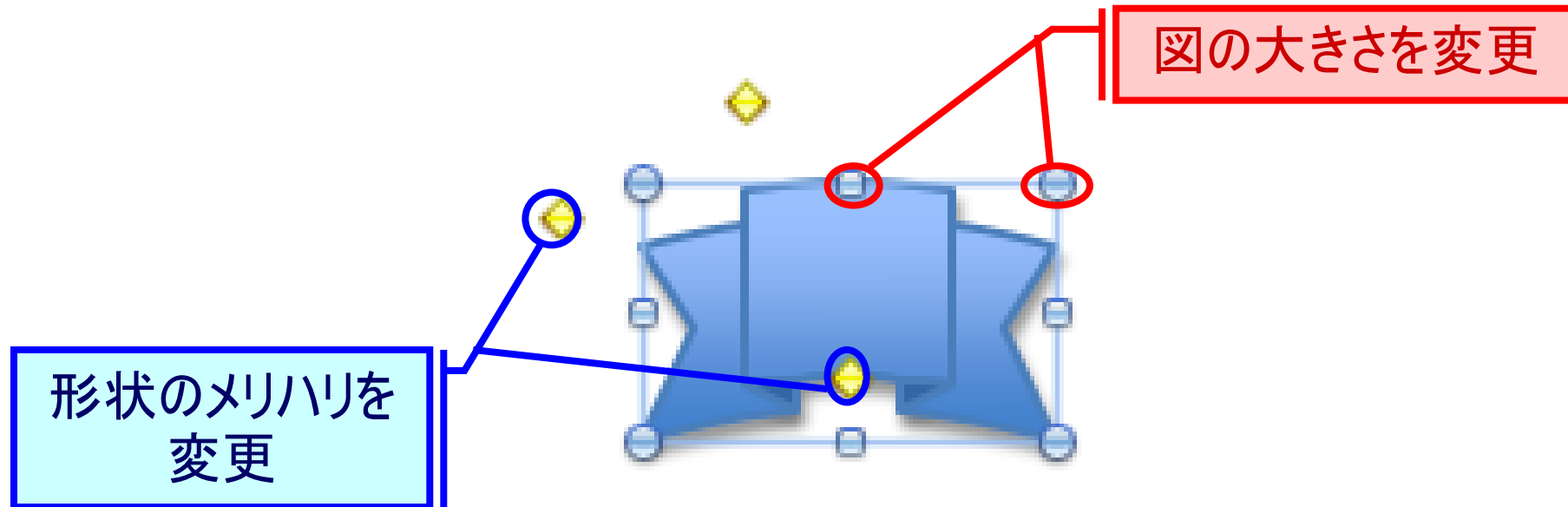


- ＊「ホーム」タブ→「挿入」欄→「図形」ボタンをクリック
- ＊表示される選択肢から、描きたい図形を選択し、マウスをドラッグ&ドロップ

図を描くには?[2](p. 155)



- ✳ 白い四角にマウスカーソルを合わせ、マウスをドラッグ&ドロップすると、大きさが変更
- ✳ 黄色いひし形にマウスカーソルを合わせ、マウスをドラッグ&ドロップすると、図形の形状のメリハリが変更



図の設定 (p. 155)



1. 設定を変えたい図をマウスでクリックして選択する
2. 「書式設定」タブが表示されるので、「書式設定」タブのコマンド類を使って設定

図をまとめて扱う(p. 155)



- ✳ グループ化: いくつかの図をまとめて扱う方法
 - ✳ 図同士の位置関係はそのままで、スライド上の位置を変える
 - ✳ いくつかの図形の色や線の太さなどをまとめて変更する

➡ 「Shift」キーを押したまま、マウスで図形を1つずつクリックする

グループ化(p. 155)



1. グループ化したい図形を選択する
 2. 「ホーム」タブ→「形式」欄→「配置」ボタンをクリック
 3. 表示される選択肢から、「グループ化」を選択
-
- 移動したい場合はマウスをドラッグ&ドロップ
 - 色や線の太さを変更したい場合は、メニューバーの「書式設定」タブから変更

グループ化したものを解除(p. 155)



1. 解除したいグループをマウスでクリックして選択
2. 「ホーム」タブ→「形式」欄→「配置」ボタンをクリック
3. 表示される選択肢から、「グループ解除」を選択

画像をスライドに取り込む(p. 156)



1. 「ホーム」タブ→「挿入」欄→「図の挿入」ボタンをクリック
2. 表示される選択肢から、「ファイルからの挿入」を選択
3. 取り込みたい画像ファイルを選択

クリップアート(p. 156)



1. 「ホーム」タブ→「挿入」→「図の挿入」ボタンをクリック
2. 表示される選択肢から、「クリップアートギャラリー」を選択
3. 表示されたウィンドウで、クリップアートの分類を選択
4. その分類に属するクリップアートを選択

やってみよう!



✳️ 演習 8.3.6 (p. 155)

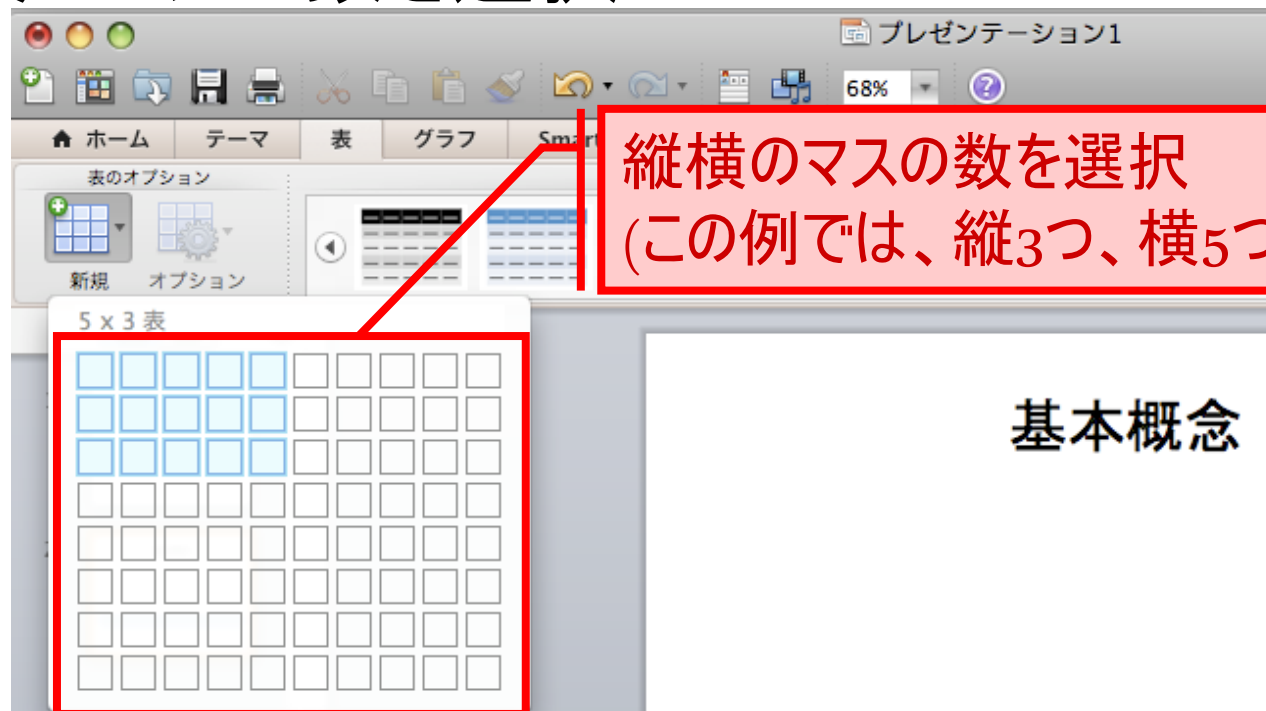
✳️ 演習 8.3.7 (p. 156)

✳️ 演習 8.3.8 (p. 156)

表を入れるには?(p. 156)



1. 「表」タブ→「表のオプション」欄→「新規」ボタンをクリック
2. 表の縦横のマスの数を選択



縦横のマスの数を選択
(この例では、縦3つ、横5つのマスの表ができる)

基本概念

3. 表のそれぞれのマスに、表の内容を入力

アニメーションの設定をする(p. 157)



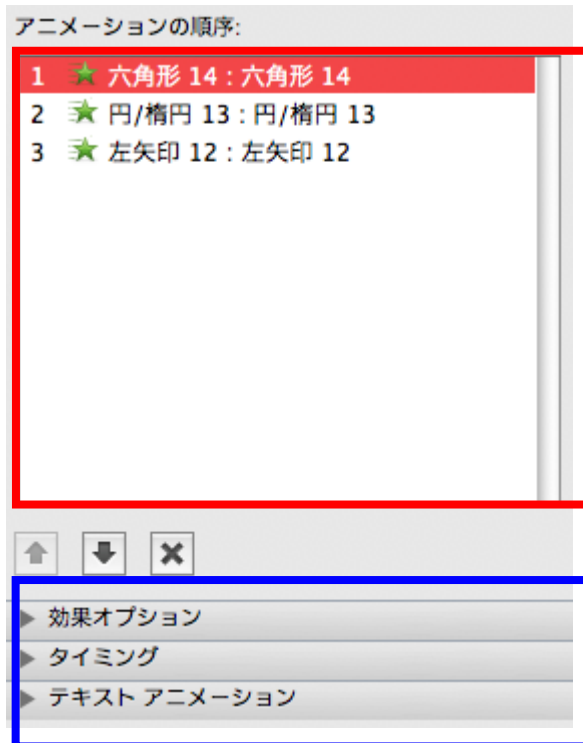
1. アニメーションをしたい図形(図形のグループ)または画像を選択
2. 「アニメーション」タブ→「開始効果」欄または「強調効果」欄または「終了効果」欄
 - ✳️**開始効果**: 表示していなかった図形やグループを表示させる
 - ✳️**強調効果**: 表示していた図形やグループを動かす
 - ✳️**終了効果**: 表示していた図形やグループを消去する
3. どのようなアニメーションを設定するかを選択
 - ✳️「アニメーション」タブ→「プレビュー」欄→「再生」ボタンで、動作を確認

アニメーションの順序(p. 157)



＊「アニメーション」タブ→「アニメーションのオプション」欄→「並べ替え」ボタンをクリック

＊図形を選択し、詳細な動作やアニメーションの順序を設定



アニメーションをする図形の順序(上から順)
➤「↑」と「↓」ボタンで順序を変更
➤「×」ボタンでアニメーション設定の削除

アニメーションの
動作の細かい設定

やってみよう!



✳️ 演習 8.3.10 (p. 158)

リハーサルをする[1](p. 159)



＊「スライドショー」タブ→「発表者ツール」欄→「リハーサル」ボタンをクリックする

＊それぞれのスライドを話すときにどのくらい時間がかかるか、全体的な時間を計測できる

＊「↓」キー、「Enter」キーまたはマウスクリックで、スライドやアニメーションが先に進む

＊「↑」キーでスライドやアニメーションが前に戻る

リハーサルをする[2](p. 159)



＊「スライドショー」タブ→「設定」欄から、スライドの切り替えのタイミングを設定できる

＊「タイミングを使用」にチェックをしていると、リハーサル時のタイミングで、自動的にスライドやアニメーションが進む

➡「タイミングを使用」は、原則としてチェックをはずしておくこと!

プレゼンテーションをする(p. 159)



- ＊「スライドショー」タブ→「スライドショーの再生」欄→「最初から」ボタンをクリックする
- ＊「↓」キー、「Enter」キーまたはマウスクリックで、スライドやアニメーションが先に進む
- ＊「↑」キーでスライドやアニメーションが前に戻る

やってみよう!



✳️ 演習 8.3.11 (p. 159)

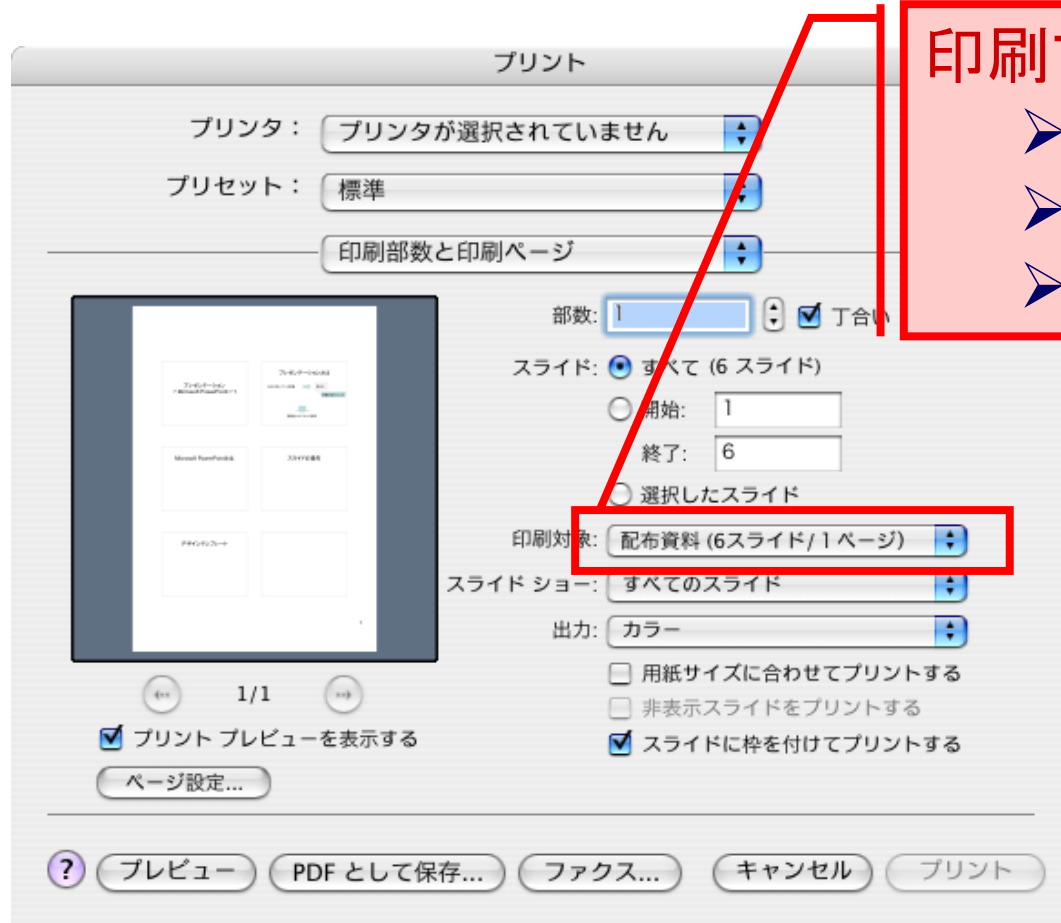


➤ すべて: すべてのスライド

➤ **開始と終了: 印刷するスライドの番号を範囲で指定**

➤ 選択したスライド: 一覧表示で選択されているスライド

スライドを印刷する[2](p. 160)



印刷するスライドの形式を選択

- スライド: 1枚の紙に1枚のスライドを印刷
- 配布資料: 1枚の紙に複数枚のスライドを印刷
- ノート: 1枚の紙の上部にスライド、下部にメモを印刷

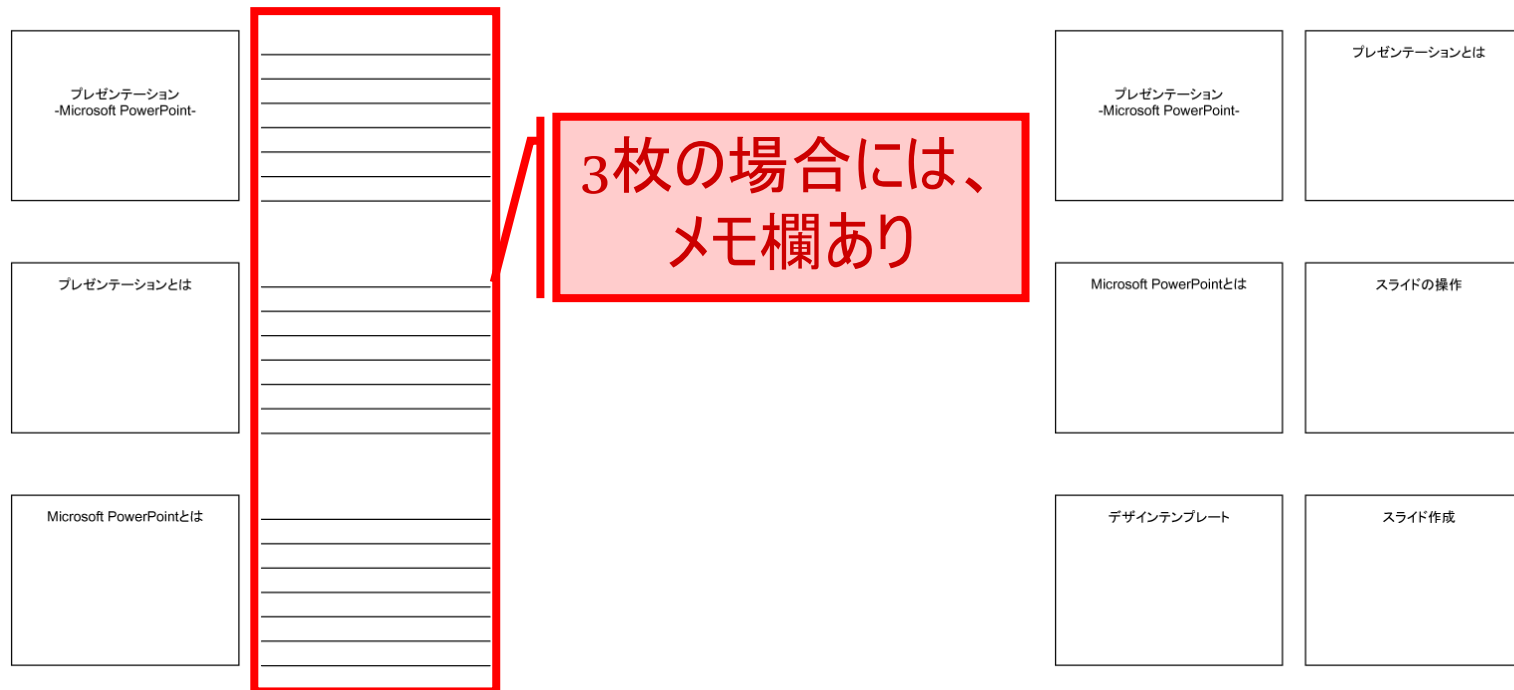
配布資料(p. 160)



✳️印刷のウィンドウの「印刷対象」の欄で「配布資料」を選択したときに印刷されるもの

✳️発表をするときに、配布資料の形式でスライドを印刷し、聴衆に配ることもよくある

✳️1枚の紙に3枚又は6枚のスライドを印刷することが多い



PowerPointの終了 (p. 165)



✳メニューバーの「PowerPoint」→「PowerPointの終了」をクリック



プレゼンテーションの留意点

聞き手について考えること(p. 161)



✳️ どのような人が自分のプレゼンテーションを聞か

✳️ 知識や興味、性別、年齢など

聞き手に適した資料を作成すること

良いプレゼンテーション

- 正確に情報を伝える
- 聞き手のニーズに合わせて情報を伝える
- プレゼンテーションの内容を理解してもらえる

1スライド1テーマ(p. 162)



✳️ スライドは、「読んでわかる」ものでなく、「**見てわかる**」もの

✳️ 1枚のスライドにたくさん文字を書かない

✳️ 一般的に、文は5行または7行以下、箇条書きの1項目は2行以下にすべき

✳️ 文字を小さくしすぎない

図や音声などの利用(p. 162)



- ✳ 図・画像・音声・ビデオ・アニメーションなどを盛り込むと、わかりやすくなる
- ✳ ただし、使いすぎるとかえってわかりにくくなることもある

適材適所で!

スライドの構成(p. 162)



＊人の視線は上から下へ左から右へ

スライドも、上から下へ左から右へ
見ていけば良いように作ること

立ち居振る舞い(p. 163)



- ✳️ 聞き手に背を向けない
 - ✳️ 原稿ばかり見ない(聞き手の方を向いて話す)
- ✳️ スクリーンが隠れる位置に立たない

話し方[1](p. 163)



- ✳️ 聞き手全員に聞こえる声で話す
 - ✳️ マイクなども利用する
- ✳️ 下を向いたり、原稿ばかり見ながら話さない
 - ✳️ 想像以上に小さな声になってしまう
 - ✳️ 顔を聞き手の方に向けて話すこと
- ✳️ ゆっくりとしたスピードで話そう、心がけること
 - ✳️ 緊張すると、話すスピードは速くなってしまう
- ✳️ 声の大きさと話すスピードに抑揚をつけること
 - ✳️ 注目してほしいことについては声を大きくする、など

話し方[2](p. 163)



＊原稿を棒読みしない

＊発表中に原稿を読んでいる人

＊原稿をまる覚えしている人

- 原稿を作らず、おおまかな話の骨組みだけを作って話ができるようにしておくこと
- 本番前に、しっかりと発表の練習をしておくこと

リハーサル(p. 163)



- * 決まった時間で発表をすることができるか
- * 話の流れに無理がないか
- * 内容で抜け落ちているものや余計なものがないか
- * etc.

これらを確認するために、リハーサルは重要

PowerPointでの引用(p. 163)



＊参考にした資料

- ＊最後のスライドに、「参考文献」などというタイトルでまとめておくといい

＊引用

- ＊引用のルールに従うこと

＊引用方法

- ＊その1: Wordと同じく、引用部分のすぐそばに資料の番号や名前を書いておき、参考文献の一覧の中に、番号や名前を先頭にして資料の情報を列挙する
- ＊その2: 引用した文章のすぐそばに注釈(「*」や「注意1」など)をつけ、そのスライドの一番下に小さな文字で資料の情報を書いておく

その2の方法での引用例(p. 163)



- ✳ 文章: 引用した文章のすぐ後ろに注釈をつけ、そのスライドの下の方に小さく引用元を記述

引用した文章のすぐ後に注釈

スライドの例

ブレインストーミングとは
ブレインストーミングとは、「頭の中をかき回して、
洗いざらいアイデアをひきだそうというもの」^{*1}

スライドの下の方に注釈に対応させて引用元の
文献の情報を記述

^{*1}: 吉田健正著:「大学生と大学院生のためのレポート・論文の書き方」,
ナカニシヤ出版 (2005), pp. 50

その2の方法での引用例(p. 163)



- ＊図や表: 引用した図や表のすぐ後ろに注釈をつけ、そのスライドの下の方に小さく引用元を記述

スライドの例

印刷方法

引用した図や表の
すぐ後に注釈

(*1)

(*1): 縮小印刷の方法:

<http://www.cis.twcu.ac.jp/~junko/Print.html> (2008.06.24)

スライドの下の方に注釈に対応させて引用元の
文献の情報を記述

他のOfficeソフトとの違い[1](p. 168)



- ✳ Officeソフトには、Microsoft Office以外にも様々なもの
 - ✳ Apache OpenOfficeやGoogleドキュメントなど
- ✳ 多くの場合、あるOfficeソフトは別のOfficeソフトと互換
 - ✳ あるOfficeソフトで作成したファイルを別のOfficeソフトで開くことが可能

but...

表示に違いが出ることも多い

- Ex. Microsoft Officeで作ったファイルを別のOfficeソフトで開いたときに、Microsoft Officeで使っていた機能や設定がうまく反映されていないなど
- WindowsとMac OS XのMicrosoft Officeでも、表示に違い

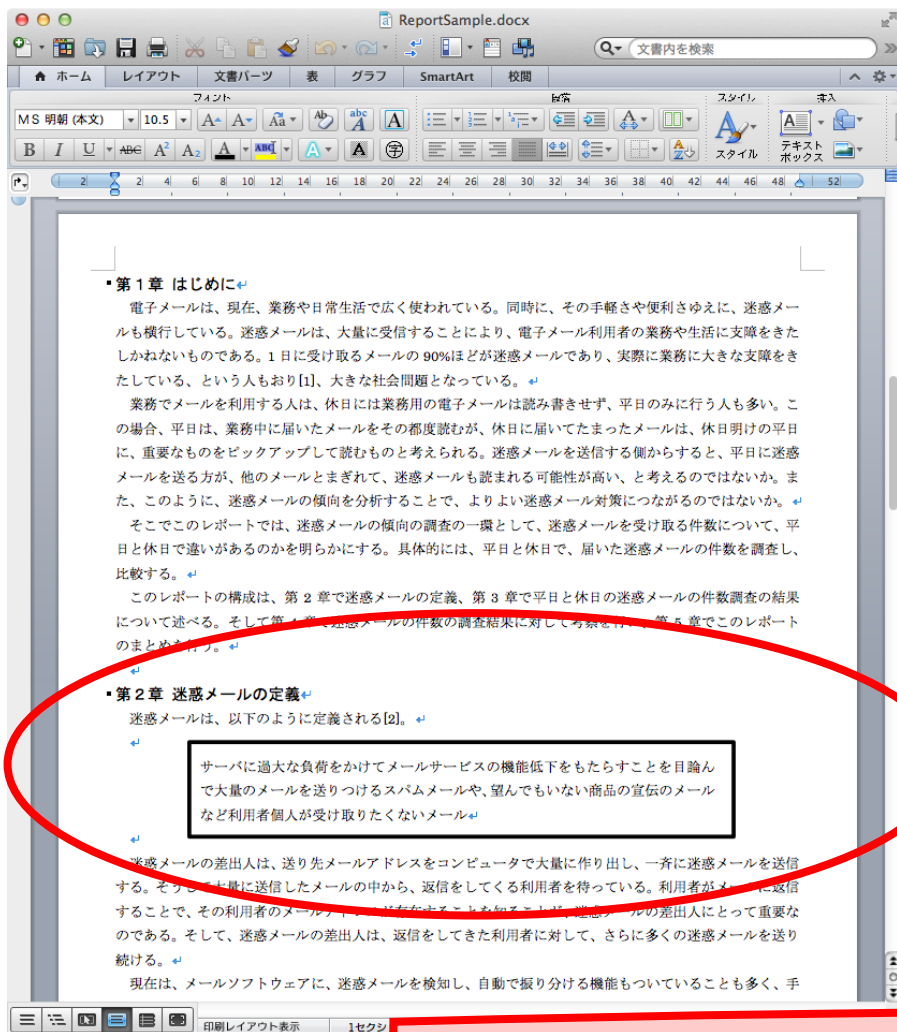
よくあわてる場面: Ex. 東女Gmailでの添付ファイルを...

- クリックしてブラウザ内で開いた場合: Googleドキュメントで開かれる
- ダウンロードしてFinderから開いた場合: Microsoft Officeで開かれる

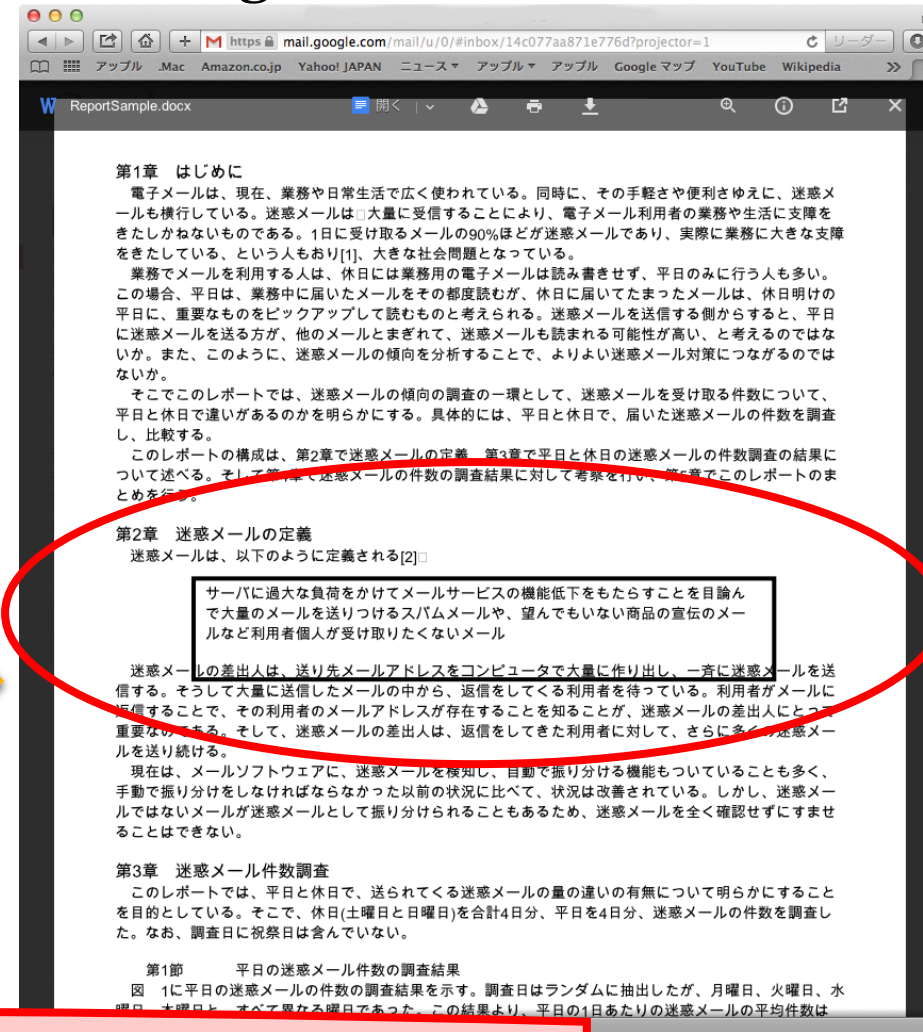
他のOfficeソフトとの違い[2](p. 168)



Microsoft Officeでの表示



Googleドキュメントでの表示



特に違いが大きい部分
(内容によってはもっと
違いが大きくなることも)

ファイルをどのソフトウェアで開いているか、きちんと確認しよう!

次回



＊木曜1限のクラス

＊パスワードの再変更

- ＊パスワードを考えてくること

＊タイピングテスト

- ＊スナップショットの撮影をきちんとできるようにして授業に来ること

＊期末試験対策

＊火曜5限のクラス

＊パスワード変更

- ＊パスワードを考えてくること

＊時間があれば、最終課題の作成作業(質問受付)

- ＊必要な資料を持ってくること